

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二二七二〇七

1983年を振り返って 最も印象に残るできごとは

日支部の書記長に聞く

『日刊動労千葉』編集委員会は、一九八三年の闘いを最先頭で担いぬいた十一支部の書記長のみなさんに、次の三つの質問をしてみました。

1. 一九八三年を振り返って、次の質問にお答え下さい。
世界の出来事のうち、最も印象に残ることは何ですか。そのことについてどう思いますか。
2. 国内の政治情勢で最も印象に残る出来事は何ですか。そのことについてどう思いますか。
3. 国鉄内の問題で最も印象に残ることは何ですか。そのことについてどう思いますか。

銚子支部 書記長 早船 静四郎

図①

ビルマのラングーン爆弾テロ事件
日本の近くの朝鮮半島が二つに分かれて、考え方が異なるとはいえ、政敵である朝鮮の大統領の命を、ビルマのアウンサン廟という国民の聖地で、特殊工作員が命を狙うという事がショックであった。平和に慣れている自分には、時々起こる世界のテロ行為、まして国家テロは、理解できないところである。

図②

田中角栄（ロッキード事件）の有罪判決
国の総理までした人でも、罪は罪として有罪という判決がでた事に、日本の三権分立をあらためて強く感じました。

図③

国鉄再建監理委員会の設立
国鉄の累積赤字を理由に、財政危機を国鉄問題にすりかえ、我々労働者に合理化と労働運動解体をしようとしている。

幕張支部 書記長 滝口 誠

図①

アメリカ、レーガンによるグレナダ侵略とフィリピン情勢である。
アメリカ帝国主義すなわち、世界帝国主義の絶望的危機の表われであり、その危機に対し、全世界各地で人民・大衆の怒りが反帝闘争となつて燃えあがってきている。

図③

昇給協定の改悪と、動労「本部」革マルの全面的、率先、受け入れということである。
しかも、これらが闘う労働者によって徹底弾劾され、動労の危機を果敢的に深めていることである。

図②

十一月九日、レーガンの来日であり、それに対し、日本の労働者人民は厳しく、立場を求められるなかで闘う陣営は、反帝ゲリラ戦を戒厳体制をついて敢行し、一方動労千葉をはじめ、闘う労働者は総評・民同の闘争放棄をのりこえ、国際主義的連帯にかけてたちあがったことである。

この闘いにより、ロッキードの反動的のりきり、レーガン歓迎一色といった策動を粉碎した。

動労「本部」革マルは、諸々の合理化攻撃に協力し、これを率先して受け入れて、労働者として裏切りを続けています。こういう時こそ、我々は労働者として自覚を持ち闘わなければならないと思う。



③ 写真でみる動労千葉の闘い 10・9 三里塚

10・9三里塚現地集會に全国から8400名が結集

独自集會を開催する国鉄労働者